

私が思うこと

今回は坂祝町に住み、各分野でご活躍されている住民のお二人にそれぞれの思いを語っていただきました。

余生を坂祝町のために

井下 外茂



坂祝町といえば、想定されている地震による津波の心配もなく、比較的安全で安心な所のようにです。しかし、過去には木曾川の増水被害もあったし、約60年前の伊勢湾台風では相当数の家が倒壊したと聞きます。また、隣の福井県には多くの原発があり、ここで一度事故が発生し放射能が放出されれば、風向きいかんによって短時間で岐阜県に放射能が届くことが、6年前の「風せん飛ばし」の実験で明らかになっています。甚大な被害が出た東日本大震災から8年を経た今に至っても、被害の実態も事故の原因も解明されない中、国や電力会社は事故などなかつ

たかの如く原発依存をやめようとはせず、逆に強化する方向の理性無き対応を続けています。坂祝も決して安全な所といえなくなっています。

また、憲法を変えてまで日本を戦争のできる国にしようとする動きもある中で、坂祝町議会は3年前『安保法廃止の意見書』を採択し国に提出されました。本当に勇気づけられました。戦争は自らの持ち得る全ての知恵と力を見ず知らずの人々を殺す為に使うことであり、絶対してはならない最たるものです。そして最大の環境破壊です。戦争にならない為の努力こそが求められています。

私は昨年、子育て支援ワークショップの『つどい場ツクリバ』に参加したのをきっかけに町議会を傍聴するようになり、多くのことを学んでいます。一度議事日程に上がった議案を本会議の中で取り下げようとする

簡単にはいかず、相当時分本会議を休憩せざるを得ない事も初めて知りました。

議会傍聴しながら、坂祝町のためにできることを見つけ、退職後の生活を送りたいと思います。

心揺さぶる出会い

村岡 比斗美



私は、年に何回か同じ夢をみます。【オレンジ色のタータンの上を助走し、全身を弓にして、真っ赤な槍を空に放つ。気持ちよく槍は飛んで。】

高校3年生の夏、陸上部で槍投げをしていた私は、県で優勝し、東海大会へ出場が決まりました。

個人競技の陸上部は、個々に引退をします。友達が引退し、気力が出す、

ほとんど練習をしないで東海大会に臨み、最悪の結果で終了しました。

初めての挫折と後悔、涙が出るばかりでした。それから、何年も陸上競技から離れていました。

坂祝に住み、ちょうどリーマンショックの頃、私の子育て暗黒時代です。喘息の子供を抱き、壁にもたれて寝る、へとへと毎日でしたが、保育園の園長先生の励ましで乗り越える事が出来、本当に感謝しています。今では、子供は元気にバスケ部で走り回っています。

子育てが落ち着いてきた一昨年、偶然、陸上部の恩師にお会いしました。夢の話をする、あの頃と変わらず、「今からでも、練習に付き合うからやってみなさい」と言っただけです。辛いのは筋トレですが、坂祝スポーツクラブで教室を紹介して頂き、元ウエイト選手の先生と教室

の皆さんと、楽しく筋トレしています。東海マスタートーズ陸上競技会入賞を目標に日々練習中です。

坂祝にもスポーツ施設や教室があります。置き去りの夢がある方や、身体作りをしたい方、是非参加してみてください。

私も、お世話になった先生方の様に、次世代へ自分の技術を引き継げる日が来たら、と思っています。



編集後記

議会も顔ぶれが変わります。これまで以上に町民の皆様とのあわせのために議員全員で取り組んでまいりたいと思っています。どうか、議場にも足をお運びください。

広報編集委員会